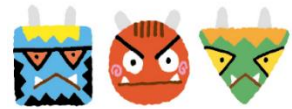


むくのきだより 2月号



令和3年1月29日 港区立赤羽幼稚園 園長 宮崎 直人

創造性豊かな幼稚園を目指して

園長 宮崎 直人

節分・立春が間近になり、暦の上では春が近付いてきていますが、厳しい寒さが続いているこの頃です。新聞等の報道によると、今シーズンのインフルエンザが、例年より大幅に少ない状況が続いているとのこと。新型コロナウイルスの感染予防のため、マスクや手洗いをしていることなどが、インフルエンザ予防になっていると考えられるそうです。赤羽幼稚園におきましても、引き続き、手洗いや換気などに気を付けながら、感染症の予防を徹底してまいります。

先日は、「みなと科学館」への親子遠足にご協力をいただき、ありがとうございました。赤羽幼稚園だけの貸し切りでしたので、プラネタリウムやサイエンスショー、工作教室、様々な展示をゆったりと楽しむことができたのではないかと思います。



また、保護者の皆様には、12月に実施しました、「幼稚園評価アンケート」へのご協力をありがとうございました。皆様からいただいた貴重なご意見を参考に、教育活動等の改善・充実を図ってまいります。詳しくは、別紙「幼稚園評価アンケートの集計結果及び改善の方向性について」に詳しくまとめさせていただいておりますので、ご覧いただければ幸いです。

さて、1月は、日本の伝統文化に親しむ活動や自然に親しむ活動が様々ありました。

【餅つき】1月14日に、保護者の方にもご協力をいただいて、幼稚園でもちつきをしました。例年であれば12月に行い、皆でお餅を食べていましたが、今年度はついた餅を鏡餅にする活動になりました。重たい杵を持ち上げて、皆の掛け声と一緒に餅をつきました。ゆり組が餅を載せる台とミカンを用意してくれて、鏡餅が完成しました。22日には、鏡開きを行いました。



【昔遊び】羽根つき、こま回し、カルタ取り、凧揚げ等、昔から伝わる遊びを楽しんでいます。

(羽根つき) 雲梯にぶら下げた羽根を打ったり、面積が広いお手製の羽子板で遊んだりしています。



(こま回し) 回すのがとても上手になりました。色を塗ったり勝負をしたりして楽しんでいます。



(カルタ取り) カルタで遊びながら、文字や言葉への関心が少しずつ育っています。



(凧揚げ) ビニールや竹ひごを使って、凧を作って揚げています。



冬の自然に親しむ活動も行っています。

【氷の秘密の探究】小学校のプールに張った氷を集めて、氷の厚さや温度を調べています。



遊びの様子を見ると、子供たちは、遊びを通して、身の回りの出来事に興味をもち、友達と協力し合い、工夫しながら、とても多くのことを学んでいることが分かります。私は、幼稚園の園長と小学校の校長を兼任していますので、このような経験の積み重ねが、小学校での各教科の学習への興味・関心や探究心につながっていくことを実感しています。

赤羽幼稚園では、これからも、子供たちの自発的な活動としての遊びを大切にして、様々な遊びを通して、子供たちが主体性をもち、身近な自然や人に積極的に関わり、知的な気づきや豊かな心を育むための教育を推進してまいります。

